

光明寺用水（築約400年）

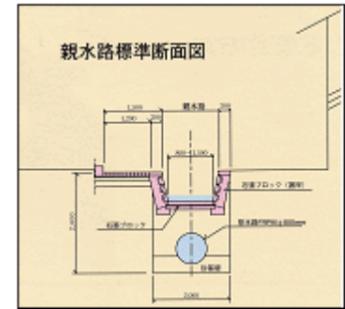
場所・施設概要



- ▶ 場所 福井市（宝永）
- ▶ 水源 九頭竜川
- ▶ 延長 親水路 830m（管水路 1,500m）
開水路と管水路の複合

- ▶ 受益農地面積 36ha
- ▶ 流量 0.32 m³/s

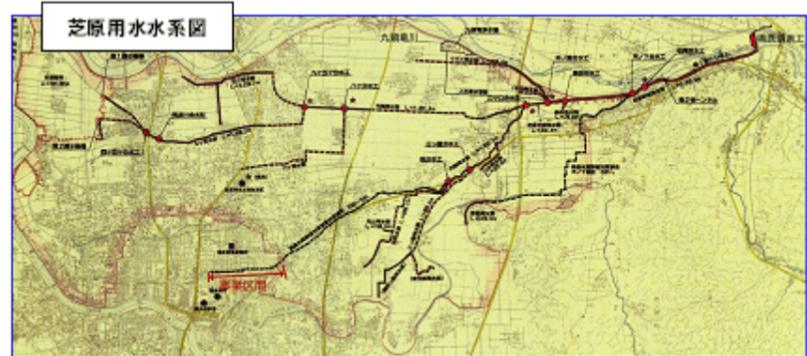
ポケットパーク 1ヶ所、親水公園 1ヶ所



歴史

光明寺用水をはじめとした芝原用水水系は、九頭竜川の左岸をする水路であり、その歴史は古く、開削は1607年になります。当時の福井藩主結城秀康の命により、家老の本田富正が城下の飲料水を確保するため開削したと言われています。明治時代には近代的な水道施設が整備され、芝原用水の上水道としての役割は終わります。しかし、市街地の貴重な“水と緑の空間”を取り戻すため、平成7年度から水辺環境の整備が進められ、平成16年度に完成しました。

参考：福井県史（福井県）



地域での役割

現在の光明寺用水は、九頭竜川を水源とし、鳴鹿大堰により取水され、芝原用水路を經由して下流の水田(36ha)をかんがいの用水として利用されています。また、用水の一部は福井城跡濠に流入しており、濠の水質浄化としても利用されています。

歴史ある水路を感じさせる護岸や、工事施工時に発掘された石材を用いて、用水の歴史を紹介するポケットパーク等が設置され、地域の歴史を学ぶことができます。平成13年度には福井市都市景観賞を受賞しました。

管理状況

用水や施設の管理は、芝原用水土地改良区と福井市が行っていますが、用水沿いでは地域住民による花壇づくり等の緑化活動が行われています。

用水の状況

